



年 組 名前

道新ワークシート

ゴルバチョフ氏死去

91 歳

ソ連最後の首脳 冷戦終結導く

戦後の東西冷戦に終止符を打ち、1990年にノーベル平和賞を受賞した旧ソ連最後の最高指導者ミハイル・ゴルバチョフ元ソ連大統領が8月30日、病気のためモスクワ市内の病院で死去した。91歳だった。国営タス通信などが伝えた。ソ連末期にペレストロイカ（改革）、グラスノスチ（情報公開）で民主化を推進。1991年4月にはソ連の最高首脳として初来日し、日ソ関係の改善に取り組んだ。

ゴルバチョフ氏は31年、ロシア南部スタヴロポリ地方生まれ。85年に54歳で旧ソ連トップの共産党書記長に就任し、外交では西側諸国との緊張緩和を目指す「新思考外交」を掲げ、米中距離核戦力（INF）廃棄条約を締結するなど軍拡競争に歯止めをかけた。アフガニスタンからソ連軍を撤退させ、東西ドイツ統一を主導。89年12月に地中海のマルタで会談した当時のブッシュ米大統領と東西冷戦の終結を宣言した。

90年3月に初代ソ連大統領に就任したが、内政では市場経済への移行や各地で紛争を抱えた民族問題で成果を上げられず、ソ連を構成する共和国の独立志向の高まりを抑えられなかった。91年8月に保守派によるクーデター未遂で権威は失墜し、同年12月に大統領を辞任。ソ連は崩壊した。91年の初来日では、当時の海部俊樹首相との間で、北方領土問題の存在を公式に認めた「日ソ共同声明」に署名。92年からの北方四島びざなし交流の実現につながったが、領土交渉で実質的な進展はなかった。

退任後は「ゴルバチョフ財団」を主宰し、評論や執筆活動に従事。財団は今年2月、ロシアのウクライナ侵攻を受けて発表した声明で、戦闘を即時停止し、和平交渉を開始するよう呼び掛けた。

ここ数年はコロナ禍対策や高齢による健康不安を理由にモスクワ市内の病院で過ごした。同市内の墓地で眠る妻ライサさんの隣に埋葬されるといふ。

(渡辺玲男)

2022年9月1（木）朝刊 全道版 1ページ（記事は再編集しています）

①ソ連の元大統領・ゴルバチョフはどんなことを行いましたか。記事を参考に書きなさい。

②ゴルバチョフはクーデターで失脚し、ソ連崩壊につながりました。その理由を記事を参考に書きなさい。